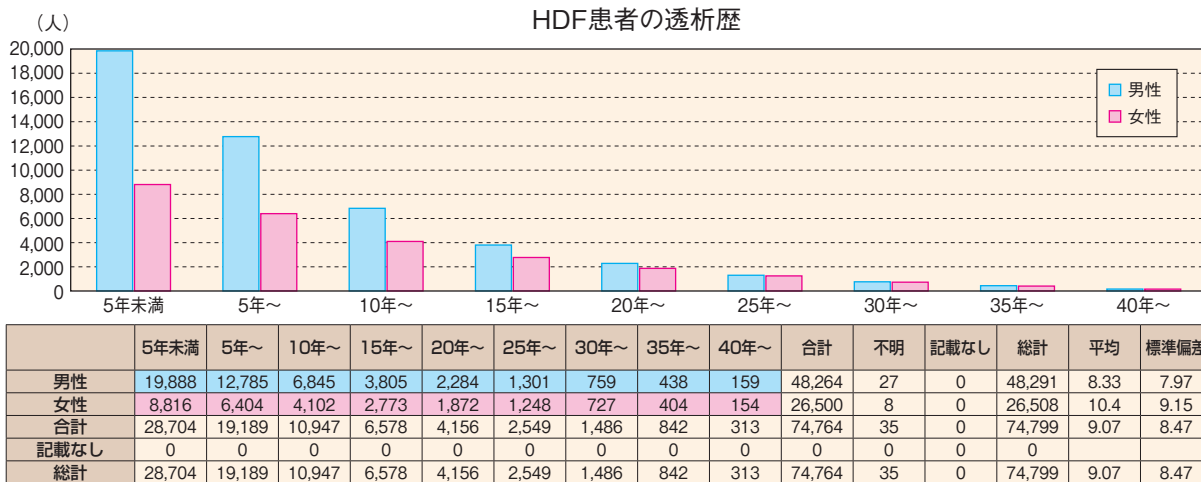
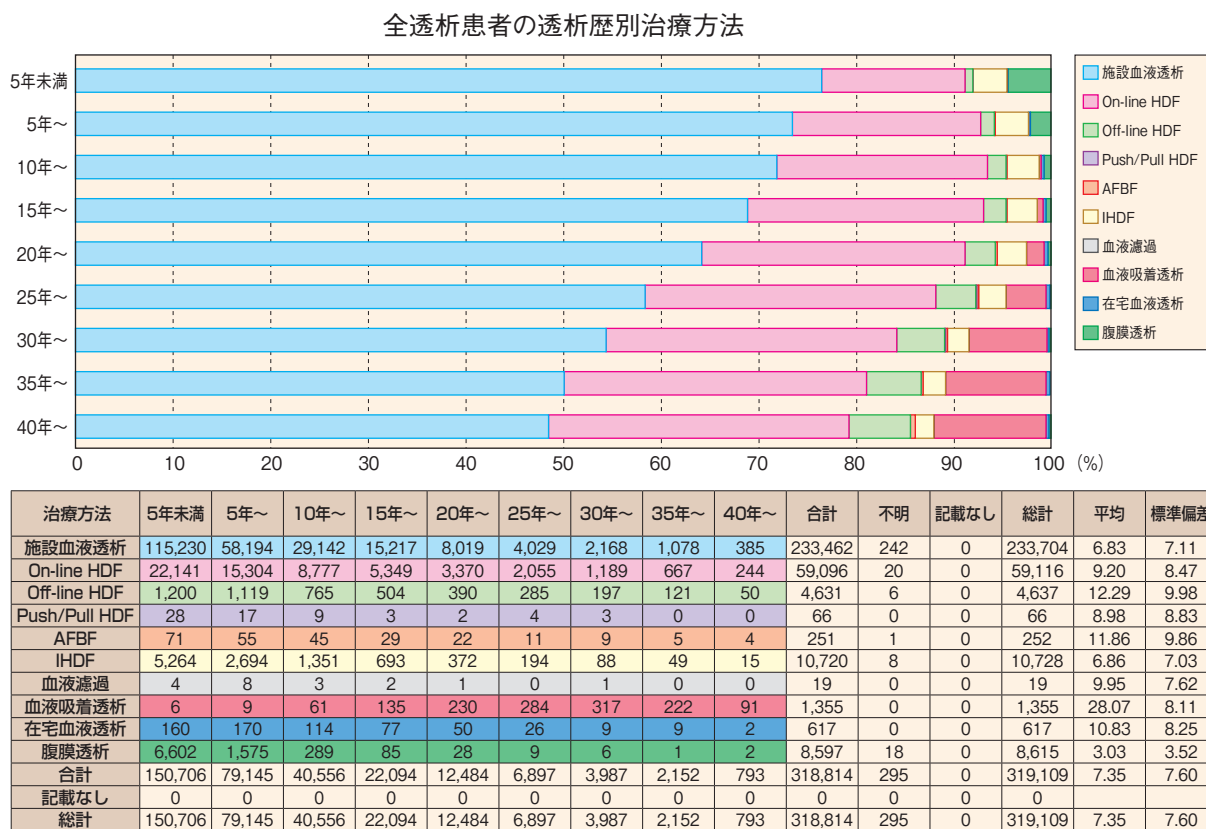


4) 血液透析濾過

(2) HDF患者の透析歴 (図表25)



集計対象：血液透析濾過患者



集計対象：透析患者全体

解説

HDF患者の透析歴の分布は、HD患者における分布とほぼ同様であった。概ね各層において男性が多い傾向であったが、透析歴25年以上では男女の患者数はほぼ同数であった。

透析患者全体を対象として透析歴別の治療方法の分布をみると、透析歴が長くなるにつれて、HDF療法の割合は増加し、HDの割合は減少する傾向を示した。その内訳をみるとOn-line HDF、Off-line HDFとも透析歴が長くなるにつれてその割合は増加傾向であった。IHDFは各層を通じて、2~3%を占めた。その他、腹膜透析は透析歴が長くなるにつれて、その割合は減少した。血液吸着透析は透析歴が長くなるほど、その割合は増加する傾向を示し、透析歴40年以上では全体の11.5%を占めた。